



表紙／職場訪問で議場見学(三田川小学校3年生)

【第45号の内容】

- | | | | |
|----------------------|---|-------------------------|----|
| ● 新議会始動～議長あいさつ | 2 | ● 一般質問～12人が登壇 | 6 |
| ● 6月定例会 | 3 | 古川 清春・古川 輝英・森田 浩文・吉富光三郎 | |
| ● 補正予算質疑応答 | 4 | 立石 良雄・城島 敏行・多良 光英・伊東 和孝 | |
| ● 議案賛否状況 | 5 | 馬場 茂・生島信一郎・古川 勲・筒井佐千生 | |
| | | ● 議会傍聴～町民の声・編集後記 | 18 |



議員が原稿作成・編集した
議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサムティ&ビー 【発行年月日】平成30年7月19日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ

<http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>

にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」
をクリックしてください。

住民の皆さまの想いを受けた12名の議員で新議会始動

総務文教厚生常任委員会



委員長 古川清春



副委員長 生島信一郎



委員 城島敏行



委員 多良光英



委員 古川輝英

議長 (総務文教厚生常任委員会)

筒井佐千生



盛夏の候、町民の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成30年町議会議員選挙後の初議会におきまして不肖私が議員各位のご推挙により吉野ヶ里町議会議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感している次第でございます。

「ひとよし・まちよし・住んでよし」の吉野ヶ里町を目指し、町民皆様が安心して生活できるよう持続性ある社会実現のため、しっかりとした議会運営に取り組む所存でございます。

今後とも町民の皆様には、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副議長 (産業建設常任委員会)

馬場 茂



産業建設常任委員会

委員長 森田浩文



副委員長 吉富光三郎



委員 立石良雄



委員 伊東和孝



委員 古川 勲



議会運営委員会

委員長 古川 勲
副委員長 古川 輝英
委員 馬場 茂
委員 古川 清春
委員 森田 浩文

小川内ダム対策特別委員会

委員長 古川 勲
副委員長 森田 浩文
委員 立石 良雄
委員 城島 敏行
委員 多良 光英
委員 伊東 和孝
委員 古川 輝英
委員 馬場 茂
委員 古川 清春
委員 吉富 光三郎
委員 生島 信一郎

議会広報編集特別委員会

委員長 森田 浩文
副委員長 馬場 茂
委員 立石 良雄
委員 多良 光英
委員 古川 勲
委員 古川 清春

議会選出監査委員

古川 輝英

平成30年第2回 6月定例会

今期定例会は、6月1日から11日までの11日間の会期で開催された。
提案された議案は、報告4件、人事1件、条例改正4件、規約変更1件、補正予算3件、意見書1件の14議案と12人が一般質問を行った。

6月1日から11日まで

教育委員選任の説明責任問う

○教育委員会教育委員の任命

●前任者の任期満了に伴い、後任者を新たに任命したく議会の同意を求める。

・古賀敏正氏(63歳)
吉野ヶ里町横田在住

Q 全員協議会他で何の説明もないまま、真つすぐ本会議に出されるのは如何なものか。

A 全員協議会に諮らなかつたことを陳謝すると共に、今後この様なことがないようにする。

Q 今回だれが任期満了となつてやめら

れるのか。

A 今回、西村友栄氏の任期満了に伴つての提案である。

条例改正

○学校教育法施行規則の一部改正

●町内両中学校に部活動指導員を新たに配置するため。

○地方税法等の一部改正
●固定資産税の特例措置の新設及び町たばこ税の税率引上げの見直し等による規定の整備のため。

○子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正
●現物給付による子どもの医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大するた

め。

○吉野ヶ里町都市公園条例の一部改正

●都市緑地法等の一部を改正する法律の施行に伴い、運動施設の敷地面積の割合について定める必要があるため。

一般会計補正 予算(第1号)

歳入歳出それぞれ3億3201万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を74億3725万1千円とする。

■継続費補正

文化体育館整備事業費として総額21億6450万円の内、今年度1億4380万円、31年度18億890万円、32年度2億



文化体育館完成予想図

1180万円とする。

■地方債の補正

合併特例債の限度額2億730万円を2億920万円に変更。

歳入の主なもの

■ふるさと応援寄付金

1億5000万円

寄付金額の目標を3億円とするための増額。

■財政調整基金繰入金

3373万5千円

■水源地域振興基金繰入金

1億2930万円

■東脊振温浴施設維持整備基金繰入金
2410万円

財政調整基金繰入金は消防自動車購入費、共同乾燥施設補助金、街路灯改良工事費、下水道特別会計繰出金などである。

■国庫補助金

△2035万5千円

社会資本整備総合交付金の内示により減額となった。

歳出の主なもの

■総務費

1億5618万2千円

ふるさと応援寄付返礼品、応援寄付ポータルサイト使用料、寄付基金金積立金である。

■教育費

1億4410万1千円

文化体育館建設工事の基礎工事請負費、設計管理業務委託料である。

■土木費

△2719万8千円

社会資本整備総合交付金の減額のため。

Q ふるさと応援寄付金受領証明書等発送委託料はこれまで職員で対応していたと思うが、どこへ委託するのか。

A 現在JTBとANAのポータルサイトを使用しているが、JTBには委託がなかったため職員で対応、ANAは委託していた。

今回楽天とふるなびの2つを増やすための委託料である。

Q 今回1億5千万円アップで3億円となったが、こんな旨味のある財源はないので目標額をもっと上げたらどうか。

A 全国的にみても1億越えがむしろ少ないと言われているが、うちの場合は、PRが行き届いていたので、4つのポータルサイトを一元管理する方向で進めたい。



ふるさと応援寄付のパンフレット

Q 返礼合戦のようになっているの、本来の応援寄付金の目的に見直すべきでは。

A この寄付のほとんどが関東周辺の富裕層からが多いので、もう少しPRに力を入れて現状のまま進めたい。

Q 温浴施設、ポンプの故障は予備のポンプと取り替えれば事は済むが、泉源が切れればどうするのか。予備の井戸を掘る必要はないのか。

A 予備の井戸は前から話があっていた。いろいろ規制はあるが、基

金も利用できるので予備を掘る方向で進めたい。

Q 水不足も問題になつていますが対策はどのように考えているのか。

A オープンから12年が経過し、老朽化による水漏れ等もある中で、今回1千万円をかけて補修工事をやる。



温浴施設のにぎわい

Q 下石動・上石動線道路改良工事の予算の減額はなぜか。

A 社会資本整備交付金の対象で、当初400mを申請していたが、27%の採択しかされなかった。

Q 文化体育館建設事業、設計管理のできる嘱託員を雇ったらどうか、委託料ばかりだ。

A 文化体育館だけではなく、どの課にも専門職を置く必要があると思うている。

Q 委託料の相手先はどこなのか。

A 建設工事管理業務委託と意図伝達業務委託料は、今後入札で決めるが、監督支援は技術支援協会に委託する。

Q 1375万円が継続費として出されているが、建設に関しての承認はいつ取ったのか。

A 今回予算として出している。

Q 国体競技補助金、これはハンドボール競技と決定しているのか。いつ決まったのか。

A 競技に関してはハンドボールが内示されている。

Q 土地購入費はどこ土地を購入したのか。

A 農免道路上豆田地区、森園建設事務所付近の用地を歩道の幅と側溝用地として購入し、もう一箇所は立野工業団地北線の拡幅用地として購入したものである。

Q 物件移転補償費はこの分か。

A これも立野工業団地北線の電柱移転分である。

Q 浄化センター改築工事実施設計業務委託費は何なのか。

A 旧施設の耐震対策の委託料である。

Q 下水道管路布設工事費と同測量設計業務委託は関連があるか。

A 関連がある。目達原北西部、川崎食品東側の調整池1号線で215mを予定している。

案件賛否状況

4月 臨時会 6月 定例会

	第2回(4月)臨時会				第2回(6月)定例会										
	吉野ヶ里町監査委員の選任について	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について	吉野ヶ里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町都市公園条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町税条例等の一部を改正する条例	吉野ヶ里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について	吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について
結果	同意	同意	同意	同意	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	同意
表決数	8:2	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0	11:0
生島信一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
森田浩文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉富光三郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古川清春	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古川輝英	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古川勲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊東和孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多良光英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
城島敏行	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
立石良雄	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
馬場茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筒井佐千生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※議席番号順 ○=賛成 ●=反対 欠=欠席 —=議長は議決に加わらない

次頁から一般質問

町政にももの申す

一般質問には12人の議員が登壇し、執行部と激論を交わしました。次ページから、各議員の一般質問と答弁の内容を掲載しています。



古川 清春 議員

発達障がい児童・生徒への 町の対応は

【町長】

初期段階の指導が一番大切

質問 特別支援学級の児童・生徒数は、

答弁 学校教育課長 三田川小学校には、計4学級に児童17名。東脊振小学校には、計6学級に児童25名。三田川中学校には、計2学級に生徒6名。東脊振中学校には、計2学級に生徒9名が在籍中である。

質問 発達障がいと疑われている児童で認定されていない児童はいないか。

答弁 学校教育課長 疑いのある児童でも受診し診断を受けないと入級されない状況である。現在の発達障がい者数よりも増加すると思われる。

質問 小学生の発達障がいと認定された児童数は。

答弁 学校教育課長 三田川小学校は、難聴児童を除く16名。東脊振小学校は、病弱・身体虚弱・弱視児童を除く22名である。

質問 発達障がい者のそれぞれの特性を持った児童・生徒が多数在籍しているが、支援員等は充分と考えているのか。

答弁 学校教育課長 配置基準として、おむね児童・生徒5人に1人の支援員の配置を行っている。



三田川小学校(町長訪問)

発達障がいを持つ児童・生徒が不登校に陥らないように早い段階での手厚い特別の支援が必要

だと考えている。今後、個々の障害の程度を考慮した支援員の加配についても、社会生活に適應できるように、充実に図っていききたい。

答弁 教育長 現在の支援員の数に充分だとは、言い切れないと考えている。

特別支援学級の教育が充実するようにしていきたい。

答弁 町長 いい機会を与えて戴いた。



東脊振小学校(町長訪問)

私自身勉強不足であった。今回勉強させていだいて、子供もだが、大人もこういう障がいを持つている人がいるので、子供のうちにきちっとある程度するべきだと考えている。

お金はかかるが初期段階の指導が一番大切だ。子供達のために、お金を使うのは今後も続けていく。

質問 小・中学校の教職員等へのスキルアップ施策は。

答弁 学校教育課長 スキルアップ研修会が毎年実施されている。平成29年度は、計5名が参加し、障がいのある児童・生徒へ適切な支援が出来るよう各教員等スキルアップに努めている。

●他の質問
○給食センター建設
○夏祭り



古川 輝英 議員

新町長の新規事業の取組は

【町長】

9月以降と考えている

質問 平成30年度当初予算は、骨格予算であったが、伊東新町長となり、6月補正にはどのような主要事業の予算を計上されたか。

答弁 財政課長 ふるさと納税推進事業の目標額を1億5000万円から3億円に増額。基金積立金を3923万7千円増額し積立てる。子どもの医療費助成事業の対象者を31年度から中学生までを18歳以下までに拡大する準備のために133万円を追加。両中学校の、部活動指導員活用研究事業で、各1名配置される非常勤職員の諸経費を計上。

質問 町長自身が考える新規事業の取り組みはいつか。

答弁 町長 今回、新規事業はないが、いま国、県に働き掛けを行っており、9月以降に検討をしている。

質問 ライスセンターの統合の考えは。

答弁 町長 JRを境にし、南北各1ヶ所に統合したい。各共乾の総会の折りにお願いをしている。

質問 広報などで、統合庁舎、統合中学校などの早期着工を挙げられているが、すぐには無理である。基本構想や資金計画を

立てて行すが、時間がかかるので、30年度から着手すべきと考えるが。

答弁 町長 すぐ建つとは思わないが、構想を立て財政などを考えやっていきたい。

質問 30年度における国と県の事業計画は。

答弁 建設課長 国道34号の駅前交差点改良計画は、29年度から5ヶ年計画で、今年度は、基本計画、用地測量などの予定で、6月初めに地元説明会が行われた。

質問 県道中原・三瀬線の計画は。

質問 建設課長 事業費約1000万円、地元への事業説明会を開催し用地測量などの予定。

答弁 建設課長 神埼・北茂安線の計画は。本町の各一地区で反対意見があり、計画同意に向け、町の協力を得ながらやられる予定。

質問 農業集落排水施設の3処理場の利活用計画は変わったか。

質問 環境課長 前川はイイベント用具倉庫、文化財倉庫、横田はリサイクルセンターである。

質問 前町長は、横田処理場の利活用は決まっていたが、あいまいな回答であった。町長の考えは。

答弁 町長 リサイクルセンターだけでは、もったいないと思うが、すべてが終わっていないので、検討させてほしい。



どうなる横田処理場



森田 浩文 議員

【町長】

場所の変更は非常に困難である

文化体育館建設場所は このままでいいのか

【質問】

今回の選挙の争点でもあった文化体育館建設場所の問題。今後の町の発展の拠点となる施設に育てていくには不透明な維持管理費、運営計画等で問題が多いが、解決したい道路問題はどうか考えるのか。

【答弁】

町長 アクセス道路整備も莫大だが、それ以上に、移転するには財源的に困難であると見極めた。

土地収用法に基づく事業認定による5千万円控除の税金の問題、ダム事業の整備期限が平成32年完了という期限の制約等も含めて非常に困難であるとの考えに至った。

【答弁】

ダム推進事業課長 想定されるデメリットとして、移転となれば工期が間に合わず基金返還となる。

更に土地収用による事業認定、国県の補助金申請を覆すとなれば、吉野ヶ里町の今後の信用にも影響する。

【質問】

学校給食施設整備の財源として予定される合併特例債の期限が32年から37年まで延長された。税の負担増となる資材高騰時期に建設せずとも、親子式給食、統合中学校、三田川小学校の老朽化対策等、他の

【質問】

教育施設の充実も同時に検討しながら、より良い給食施設建設を目指す考えは。

【答弁】

町長 財源の問題もあるが、中学校統合についての計画だけは立てたい。給食センターについて建設時期の問題は、ボタン電池混入から3年となるので早急に進めたいと考える。

しかし、米飯給食実施の問題や防衛省補助事業の申請など、議会の意見を聞いた上で判断する。

【質問】

米飯給食実施の備蓄米の利用で米飯の一定期間無償提供ができるが、考えは。

【答弁】

町長 米飯給食は実施したい。備蓄米の利用も1年間は無償提供できるので、9月には補正予算を提出したいと考えている。

【質問】

地方交付税が低下する中で、ビジネス的な見地から新たな自主財源として、ふるさと納税が注目されている。福祉・教育・地域の活性化などフリーハンドで様々な分野に投資できる。寄付金の目標設定として給食センター建設等も掲げて、ふるさと納税の強化に取り組む考えは。

【質問】

町長 強気のトッ プセールスで営業活動を自ら行い、PRも強化していきたい。

【答弁】

他の質問
○里山ふれあい広場の方向性
○ダム振興基金の残事業
○三田川小学校の老朽化対策
○町の土地利用計画と中心地作り



新設された里山ふれあい広場



イノシシ肉を町の特産品へ



吉富光三郎 議員

【町長】

駅北周辺も道路・下水道整備を図る

駅北・駅南周辺の 開発計画はあるのか

【質問】

駅北・駅南周辺の開発計画はあるのか。

【答弁】

建設課長 駅北に関しては開発計画は民間も含め、農振地区内ということもあり、具体的な整備計画はない。駅南周辺に関しては国道34号線駅前交差点改良工事に伴い、南口周辺整備策定業務を平成29年度から行っている。

【答弁】

町長 全区域が都市計画区域になっている。ただ土地利用等の指定をやっていない。駅北・南周辺土地利用計画を県で後押ししていただき、下水道のルートを延ばし道路整備し、開

【質問】

駅北口・吉野ヶ里歴史公園までのアクセス道路の現状と今後の改良計画はあるのか。凸凹があり、通常のアスファルト舗装がコスト面から良くはないか。

【答弁】

建設課長 当初、吉野ヶ里公園駅北口のアクセス道路として緑道整備（歩行者専用道路）での事業を行い、町道認定後は一般町道として供用している。

非常に損傷が激しい状態であり、平成30年度社会資本総合交付金事業で、平成31年度以降は、道路

【質問】

交通安全対策について

【答弁】

町道吉野・田手村線、工事完了から数年経つが交通量も多く、しかも通学路となっている。交差点付近、三田川小学校体育館南の横断歩道の手前に、ハン

【答弁】

総務課長 住宅地と騒音の問題があり、警察（公安）との協議が必要となる。まず、そのことを解決しないと難しいと考える。横断歩道の対策として、毎年、通学路点検を行って、協議し



三田川小体育館南の横断歩道



町道田手村～吉田線の凸凹の現状

【質問】

今後、三田川中き場が増設され、全学年自転車通学となる。歩道の自転車通行帯の設置も必要である。注意喚起し

【答弁】

学校教育課長 今現在、両中学校共に、許可の条件として自転車保険の加入は付加していない。

ただ、協議の中では、学校長と任意保険の条件を付けてはどうか協議中である。



立石 良雄 議員

前町長の腹心である副町長が 次の町長と通じて、尋常じゃない

【町長】

岩崎副町長とは日頃より話し、お願いしていた



副町長 副町長の認識不足は甚だしい。四月十五日の三日前に、伊東前議長と話し合って、まだやっていくと言われた。前町長の女房役が、今度の町長と話し合っているとか、言語道断。



副町長 新町長の当時、議長としてお付き合いを頂いたので、当時の議長の新町長からは、任期も残っているからと伺った。



副町長 首長が一応お辞めになった時には女房役として、大体辞表を出して辞めている。



副町長 副町長の今後の態度は、一年十ヶ月まだある。伊東

町長を補佐していきたい。



前町長 ある、一番頼りの副町長が、今度は、次の町長と気脈を通じて、尋常ではない。伊東町長も前町長が信任した副町長と、その様なことは、不見識ということだ。



町長 岩崎副町長は、私も議長時代に日頃から話しをしたり、色々お願いをしていた。



佐賀工場跡地の、撤回の条件として、県道吉野ケ里公園駅の公園線の推進を図ることで、県にも事情説明を済ませているとのことだが。



町長 ジャパンパイルの県道関連の事業については、県には事業的な接続はあっていない。



五ヶ山ダムに係る国有資産等所在市町村交付金については年額約七千万円の交付金額を前提の交渉で、過去の経緯を踏まえ、強い対応が必要であるが。



税務課長 福岡市水道局、ほか二水道企業団と協議を行っている。

文化体育館について



複数の議員が、場所を町長権限で



日本茶樹栽培発祥の地

茶樹について



茶樹の生産、存続の面で、取り組んで頂けないか。



町長 温泉に行くルートに、お茶を植えたらどうかと提案している。又、乙護法堂の整備とその周辺の坊跡整備、もう少しくつろげる場所になれば良いかと思っている。



町長 今の中学の校の北で良かったのかと、自分がその様に思うから、皆さんにもう一回勉強会をして頂いた。

の事業への充当を見直すことができれば、活用も可能と考えられる。

●他の質問

- 里山ふれあい広場で、交流館、鳥獣処理加工センターオープン
- 文化体育館建設
- 2023年国民体育大会ハンドボール競技誘致の問題点



これからの吉野ケ里町は、葬祭公園、東部ごみ処理場、給食センター、図書館、統合庁舎、統合中学校、その他、2025年には67ある町施設の60%が、建設されて30年を超え、維持管理費が増えてくる。

国道385号には右折レーンも整備され、歴史公園北入口のアクセス道路、駐車場も整備されている。大塚ケ里南部に文化体育館を移動すれば、吉野ケ里町のイメージアップにも繋がり、予算削減と、子や孫に負担を残さない町になるが。



町長 文化体育館建設事業について

は、現在「造成工事」まで完了しており、本年度から建設本体に着手する予定にしている。



文化体育館周辺のアクセス道路整備については、まだ出ていない状況であるが、文化体育館建設事業の主要財源は、水源地域振興事業負担金を活用しており、整備期限が平成32年までとなっております。事業の財源等を考慮した場合、建設場所の再検討は難しいと考えている。



平成19年6月時点では18億4278万円だった文化体育館建設事業費が、平成30年には25億9769万円に



平成19年6月時点では18億4278万円だった文化体育館建設事業費が、平成30年には25億9769万円に



大塚ケ里南部に移転すれば 予算削減にもなるのに

【町長】

建設場所の再検討は難しい



城島 敏行 議員

財政課長 アクセス道路については、事業内容が具体化していないが、道路事業に対する国庫補助としては、社会資本整備総合交付金が考えられる。



また、合併特例債が5年延長され、平成37年までとなったことから、他



造成工事が完了した文化体育館敷地



多良 光英 議員

統合庁舎建設 検討委員会の設置は

【町長】

企画課で対応 議会と共に検討



質問 統合庁舎・統合
中学校・給食セン
ター建設が公約にあげら
れていた。考え方と建設
場所に対する考えは。



答弁 町長 統合庁舎の
考えは、現在三田
川庁舎、東脊振庁舎、き
らら館、中央公民館と分
散、職員業務の効率化の
面から推進していく。
場所、地域の中心部
アクセスを考え駅北へ。



質問 建設費など、財
源は何を活用。



答弁 財政課長 財源シ
ミュレーションと
しては、緊急防災減災事
業債や合併振興基金、公
用及び公共用施設建設基
金を活用したい。



三田川庁舎



老朽化している両庁舎



質問 建設検討委員会、
早期の設置は。



答弁 町長 企画課があ
るので課で対応し、
案が出来た時点で議会と
共に検討していく。



質問 統合中学校は地
域の特色を残すた
めにも、現状でいいの
で。



答弁 町長 保護者、地
域住民の十分な理
解を得ながら「ひとつの
まち」となるためにも推
進していきたい。
場所は、いろんな事業
所が集まる駅北が理想と
考えている。



三田川中学校



東脊振中学校

北を分断、通学路の安全
確保が大事と考えるが。



質問 学校教育課長 学
校用地選定と絡め、
生徒の通学距離の延長に
伴い徒歩、自転車通学状
況によっては、スクール
バスの導入など検討する
必要がある。



質問 建設費の財源は
どのように計画。



答弁 財政課長 文科省
補助及び学校教育
施設等整備事業債などを
活用していきたい。



質問 給食センター建
設、整備計画は。



答弁 町長 センター方
式、自校方式、親
子方式、と3つに分けら
れ、児童数の推移等を総
合的に考えて、議会と協
議していきたい。

現時点では場所は未定。
財源の確保は2つの選択
肢を検討している。

①合併特例債を活用でき
る場合は、文科省補助と
合併特例債。

②防衛省補助を活用でき
る場合は、防衛省補助と
緊急防災減災事業債。

●他の質問

○学校教育
（学力テスト公表は）
（学級支援員の増員は）



伊東 和孝 議員

老朽化したトム・ソーヤの森 どうするのか

【町長】

補助金等を模索して再生していく



質問 トムソーヤの森
建設して25年が過
ぎ、建物は老朽化が進み
子供づれの来場者も減少、
夏休みのキャンプも少な
くなっている。



答弁 町長 先日知事も
見に来られた。県
としても、自然が体験で
きるパークを企業と模索



質問 商工観光課長 こ
れまで幾度となく
協議してきたが、現実
的に活用案までは至らな
かった。

平成26年にプロポーザ
ルによる一般公募をした
が契約には至らなかった。



答弁 町長 先日知事も
見に来られた。県
としても、自然が体験で
きるパークを企業と模索



トム・ソーヤの森

されているようなのでま
だどうなるかわからない
が、いずれにしても、補
助事業等をさがして、集
客出来るようなトムソー
ヤの森を再生したいと考
えている。

また里山ふれあい広場、
さざんか千坊館、山茶花
の湯と、一日遊べる観光
ルートを作りたいと考え
ている。

山茶花の湯周辺 整備について



質問 地域振興基金残
事業、山茶花の湯
周辺整備事業など、どの
ように考えているか。



答弁 ダム事業推進課長
現在残事業として
2億円が計画されている
が、具体的に現在では決
まっていない。
早急に事業計画を進め
たいと思っている。



質問 下段8千㎡の用
地は現在の計画が
なければ、屋外運動公園
にしたらどうか。



答弁 町長 事業費2億
円の使用期限が平
成32年度までと決まっ
ている。

土地買い戻し、インフ
ラ整備等を変えたと残り
1億円。
何とか皆さんと協議し
て実行していきたい。

イノシシ加工施設 運営について



質問 イノシシ加工施
設が建設されたが、
運営を一般社団法人脊振
山系鳥獣処理加工センタ
ーと委託契約をされてい
るが内容は。



答弁 農林課長 施設管
理業務と処理加工
業務となっており、委託
料として町が払う契約に
なっている。



質問 神崎市より負担
金として約340
万円の収入はあるが、光
熱水費等合わせて年間5
50万円の支出は今後一
年間経過を見て検討すべ
きと思うが。



答弁 農林課長 年間を
通して猪肉もどれ
くらい販売出来るかわか
らない状態なので、経過
を見ながら検討していく。



馬場 茂 議員

【町長】

インター・駅を中心としたまちづくり

町長に問う あなたが 目指す吉野ヶ里町とは

【質問】 土地区画整理の構想はあるのか。

【答弁】 町長 都市計画に基づき土地利用計画を作り直し、企業適地の開発をやっていく。

【質問】 385号線両サイドの農地転用の考えは。

【答弁】 町長 インターから34号交差点までの間を両サイド50mは無理でも、農振除外をやった頂きたいと思っている。

【質問】 前町長は、住宅地にしたいと言われていたが、ジャパンパイル跡地の活用はどうするのか。



どう活用されるかジャパンパイル跡地

【答弁】 町長 跡地の利用に関しては、何にでも向くと考えている。保育園の移転先にもなるし、駅までも近いのでいろいろ活用できる。

【質問】 農業問題の取組みの中で、特にライスセンターの統合はどの様に考えているのか。

【答弁】 町長 まず東脊振に三田川北部の統合を考え、北部で話をした。

【質問】 農家の方々の反応はどうだったのか。

【答弁】 町長 借金がいくらか残るのかを心配されている。建物の処分金がかかり、土地だけ残って売り払ってもマイナスになると。

【質問】 南部で話はされたのか。

【答弁】 町長 借金がいくらか残るのかを心配されている。建物の処分金がかかり、土地だけ残って売り払ってもマイナスになると。

【質問】 課長の答弁で事業主体はJAなので協議を進めてもらうよう働きかけを行っている。責任者が集まって協議をしてもらわないとできない。

【答弁】 町長 きれいなまちづくりを目指したいので、商店街や駅南に手を入れていきたい。

【質問】 吉野ヶ里歴史公園とのタイアップの様に進めていくのか。

【答弁】 町長 今まで公園との繋がりが良くなかったので、今回2回挨拶に出向いた。公園所長、センター長から苦情と要望も聞いたので、今からは仲良くタイアップをしていく。

利用者が少ない公園北口



生島信一郎 議員

【町長】

各地区をブロック単位で分け、計画性を持たせる

町内生活道路の現状と 今後の課題及び方針は

【質問】 町内の道路インフラの整備補修等について、現状課題となっていることは何か。

【答弁】 建設課長 町道については各種補助事業、交付金等を活用して事業化を目指しているが、事業の採択や予算の確保に苦慮している。

また、生活道路改良事業においては、地元からの要望も非常に多いが、町単独事業であり、財政上の問題から、全体の20%程度しか処理できていないのが現状である。

【質問】 町長は選挙公約で町内インフラ整備を掲げて当選したが、今後の方針は。

【答弁】 町長 自分の足で実際に通ってみると未舗装の町道や緊急車両の通れない道が多くある。安心・安全で住み良い町づくりのために、そのような狭小な道路の改善はきちんと対応していかなければならない。

現在、町内には38集落があるが、個々の要望ごとにバラバラに行うのではなく、ある程度地区をブロック単位で分けて整備計画を立てて生活道路の改善に着手したい。

【質問】 米飯を含む完全給食について

町内小中学校の学校給食は米飯を持参するようになってい

るが、持参していない児童もいると聞いている。実態調査は行ったか。

【答弁】 学校教育課長 昨年12月に、米飯を持参していない児童生徒がいるかどうか、小中学校4校において抜き打ち調査を行っている。三田川小学校11名、東脊振小学校2名、三田川中学校25名、東脊振中学校12名の計50名が持参していなかった。

持参していない理由まで確認していないが、たまたま忘れた、ダイエツトのためにといった理由が推測されるが、それ以外にも生活困窮やネグレクトなどもあるのではな



舗装されていない町道



児童の今日の給食

【質問】 米飯を持参していない児童生徒は学校給食法で定められた栄養基準を満たしていないことになる。子どもたちの健全な成長のためにも完全給食への移行が必要ではないか。

【答弁】 学校教育課長 適正な栄養価のある給食献立を作る上でも、早期に実施する必要があると考える。

【答弁】 町長 米飯給食は給食センター建設

●他の質問

- 下水道整備事業
- 給食センターの建設方式と費用
- ふるさと納税



古川 勲 議員

3年目になった健康ポイント 制度の現状は

【社会教育課長】

現在の登録者数は878名となっている

質問 町主催のイベント参加表も自主申告にすべきでないか。

答弁 社会教育課長 健康ポイント手帳の確認時に「イベント参加表」の欄に記載があればスタンプ押印とみなす。

質問 健康ポイント手帳のデータを蓄積することにより、「健康長寿のまちづくり戦略」に活用できるのでは、保険課、福祉課などと連携してデータの活用方法を検討すべきではないか。

答弁 町長 関係各課連携して活用方法を検討していく。

健康ポイント制度の登録者の世代・性別の内訳

年齢	女性	男性	計	割合
29歳以下	25名	19名	44名	5.0%
30～45歳	97名	54名	151名	17.2%
46～49歳	21名	9名	30名	3.4%
50～59歳	74名	27名	101名	11.5%
60歳以上	403名	149名	552名	62.9%
合計	620名	258名	878名	
割合	70.6%	29.4%		

伊東町政について

質問 分庁方式が業務の足かせになっていると考えられる事務は。副町長 複数の手続が一箇所で行かない。維持経費が多く

いる。業務の伝達が遅れる。庁舎間の文書の集配を毎日2回行う。分庁舎のネーミングが心に残り、町の一体感がないなど、職員間の連携や意思疎通に障害があると思う。

質問 町長は、統合中学校の早期着工を打ち出された。これからの本町の義務教育体制をどのように教育委員会として導いていく考えなのか。

答弁 教育長 今後も小中一貫校や義務教育学校、統合中学校について、児童生徒数、財政状況、住民の意見などを総合的に検討していく。私自身統合中学校に異

論はない。

質問 給食にボタン電池が混入して2年半になった。給食センター建設を大至急進めたいと言われたが、どのような構想を持っているのか。

答弁 町長 学校給食センター建設の方向性については、6月末までに方向を決めたい。建設場所や供給形態については、議会との協議を行っていく。



神埼市の給食センター



旧神埼町の統合中学校

質問 統合中学校の予定地内に給食センターを先に建設し、その後統合中学校の建設を行う方法は考えられないか。

答弁 町長 一つの良い考えではある。学校給食は、稼動日数が約200日しかないのに、独居老人等への弁当の宅配は考えられないか。



筒井佐千生 議員

インフルエンザ予防接種の 一部助成の考えは

【町長】

医師会に相談し検討

質問 平成29年度の高校受験において、インフルエンザに罹患した生徒はいたか。

答弁 学校教育課長 三田川中の生徒1名、東脊振中の生徒2名が罹患し、別室受験を余儀なくされ、1名が志望校に不合格となった。

質問 このような状況であり、インフルエンザ予防接種の一部助成について、教育長としてどう考えるか。

答弁 教育長 受験シーズンには、毎年インフルエンザの流行と重なり、このような事にならないよう予防接種の一部助成を町に願いたい。

質問 町長 副作用の面が気にかかり、今後医師会に相談し検討する。

質問 乳幼児支援として、チャイルドシート購入助成の取組は出来ないか。

答弁 福祉課長 出生祝い金2子目まで2万円、3子目以降10万円を支給しており、購入に充てていただきたい。

質問 入学時における支度金がいくら程かかっているか把握されているか。

答弁 学校教育課長 町として、支度金制

度はない、入学時の支度金の把握もしていない。

質問 小学校入学時にランドセル、制服等で10万程、中学校入学時はさらに部活動、自転車等の購入が増えてくるので、今後取組を検討できないか。

答弁 教育長 工夫をし今後検討したい。

質問 学習支援事業の取り組みは。

答弁 福祉課長 県事業として、ひとり親家庭の児童に学習支援として週1回実施している。

答弁 学校教育課長 両中学校に1回あたり2名の外部支援員を配置し、3年生を対象に放課後学習を実施する。



チャイルドシート



ランドセルと制服

●他の質問
○学校給食センターのランニングコストは近隣市町との連携は給食センター完成までの給食の対応

質問 上峰町では、1人当たり3万円支援されているが。

答弁 町長 子育て、定住支援、土地政策面を含め、財政面もあり、議会と今後協議を進めていきたい。

町民の声

議会傍聴

新議会に期待

町民の心を一つに

東脊振と三田川が一緒になり、吉野ヶ里町となって12年が過ぎましたが、未だに旧2町村思考で物事を捉える町民の方々が多数おられます。

町議会では新体制初回の一般質問でも旧地区体制から一つの町となる為の構想を打ち出し前向きな議論をされています。一般質問の中で町職員と町議会が我が町の未来を考え、議論されている様子を一人でも多くの方に傍聴して欲しいと思います。

せっかく同じ町民となったのですから、一つの町として考えていきたい。今期こそ吉野ヶ里町が一つになり、更に住み良い町になって欲しいと強く願います。

(吉野ヶ里町 S)



新議会が始動した。
6月定例会の一般質問は12名全ての議員が登壇。本会議では多くの傍聴者の皆様が見守る中、白熱した議論が展開された。

人口2万人に向けた施策を

6月定例会を傍聴したが、重複した質問が多く、議員間で調整が出来ないものかと感じた。質問する議員も自分なりのアンサーを持って臨むべきで、提案型・対案型の質問をすべきである。

これこそ車の両輪で行政と議会のあるべき姿ではなかろうか。

ハード事業の質問も多く感じるのでソフト事業にも注力してほしい。

私は少子高齢化問題を懸念している。人口2万人を目標に若者の定住促進事業の展開すれば、税収増、高齢化率の減少、医療費負担の減少にもつながる。このような問題を共有し取り組まれることに期待する。

(三津 松田)

今後4年間よろしくお願いいたします



前列右から
古川 輝英
城島 敏行
筒井佐千生
馬場 茂
立石 良雄

後列右から
古川 清春
吉富光三郎
古川 勲
伊東 和孝
多良 光英
生島信一郎
森田 浩文

町議会以外でも、様々な活動をしています。

町議会議員は、町の議会活動以外にも、広域行政事務組合議会等、様々な活動をしています。

一部事務組合等への 議会選出議員

●佐賀中部広域連合議会
・消防委員 多良 光英
・介護委員 森田 浩文
●神埼市・吉野ヶ里町
葬祭組合議会議員
・筒井佐千生

・馬場 茂
・城島 敏行
・多良 光英

佐賀県東部環境施設組合 議会議員

・筒井佐千生
・森田 浩文

三神地区環境事務組合 議会議員

・筒井佐千生

脊振共同塵芥処理組合 議会議員

・筒井佐千生

佐賀県後期高齢者医療 広域連合議会議員

・馬場 茂

編集後記

改選し新しい布陣となりました。我々12名の議員は住民皆様の貴重なご意見を賜りながら、しっかりと町政へモノ申してまいります。

今後の議会改革の中ではインターネットによる議会中継の議論も高まって参ります。議会傍聴こそ、住民による政治参加・住民自治の第一歩であります。

今後も、吉野ヶ里町議会への熱い関心を寄せて頂くことを心よりお願い申し上げます。(浩文)



親しまれる議会だよりをめざして頑張ります(編集委員一同)

○議会広報特別委員会

委員長 森田 浩文
副委員長 馬場 茂
委員 立石 良雄
古川 勲
多良 光英
古川 清春